

田辺市議会だより

発行 / 田辺市議会

編集 / 広報委員会

令和元年
(2019年)

8 月号



7月18日「全国森林環境税創設促進議員連盟 第26回定期総会」(田辺市文里)

第2回(6月)定例会

令和元年度一般会計補正予算などを可決

令和元年第2回(6月)定例会は、令和元年6月14日に開会し、7月5日までの22日間の会期で開催され、正副議長及び一部事務組合議会議員の選挙並びに常任委員会等の委員の選任を行いました。

また、「令和元年度一般会計補正予算」など、市長提出議案9件を全て原案のとおり可決しました(人事案件については、同意または異議なし)。このほか、市長専決処分事項など6件の報告を受けたほか、議員提出案件1件(意見書)を可決しました。

本定例会では、6月25日～27日の3日間にわたり、11人の議員が一般質問に立ちました。

目次

- ・議会の構成 P 2～3
- ・議決結果の一覧等 P 4
- ・一般質問 P 5～7
- ・第3回(9月)
定例会予定
議会活動日誌ほか P 8

田辺市議会ホームページ

<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.html>

※携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると、
議会ホームページにアクセスできます。



QRコード

議会構成が決まりました

議 長



安達 克典 議員

副議長



陸平 輝昭 議員

議会運営委員会

議会の円滑な運営を図るために設置しています。
各会派から選ばれた委員が議会の日程や議案の取り扱いについて協議するほか、
必要に応じて議案及び請願の審査も行います。(定数8人)
(◎は委員長 ○は副委員長)

◎二葉 昌彦
久保 浩二

○宮井 章
尾花 功

柳瀬 理孝
安達 幸治

浅山 誠一
佐井 昭子

常任委員会として、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会を設置しています。

常任委員会は議会に常設され、担当する事務の調査、議案・請願の審査を行います。

総務企画委員会

【所管事項】

企画部・総務部・会計課・消防本部、消防署及び消防団・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員・固定資産評価審査委員会等に関する事項及びその他の委員会の所管に属しない事項(定数8人)

(◎は委員長 ○は副委員長)

◎橘 智史
宮井 章

○福榮 浩義
二葉 昌彦

松上 京子
安達 克典

前田 佳世
出水 豊数

産業建設委員会

【所管事項】

商工観光部・農林水産部・建設部・水道部・農業委員会の所管に関する事項(定数7人)

(◎は委員長 ○は副委員長)

◎尾花 功
市橋 宗行

○浅山 誠一
安達 幸治

川崎 五一
小川 浩樹

北田 健治

文教厚生委員会

【所管事項】

市民環境部・保健福祉部・教育委員会の所管に関する事項（定数7人）
（◎は委員長 ○は副委員長）

◎久保 浩二
佐井 昭子

○柳瀬 理孝
中本 賢治

高田 盛行
陸平 輝昭

塚 寿雄

広報委員会

【所管事項】

議会の広報に関する事項（定数7人）
（◎は委員長 ○は副委員長）

◎安達 幸治
宮井 章

○松上 京子
中本 賢治

柳瀬 理孝
出水 豊数

前田 佳世

新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会

【所管事項】

新庁舎に求められる機能、庁舎のあり方等に関する調査及び市街地におけるまちづくり、基盤整備等に関する調査について（定数8名）
（◎は委員長 ○は副委員長） ※副委員長、委員の構成に一部変更があります。

◎佐井 昭子
尾花 功

○高田 盛行
二葉 昌彦

川崎 五一
市橋 宗行

北田 健治
安達 幸治

一部事務組合議会議員の選出

※一部事務組合とは、2つ以上の自治体が共同で事務を行うために設置した特別地方公共団体（地方公共団体の組合）です。

◆公立紀南病院組合議会（8人）

川崎 五一 橘 智史 安達 克典
塚 寿雄 佐井 昭子 中本 賢治
出水 豊数 陸平 輝昭

◆田辺周辺広域市町村圏組合議会（7人）

久保 浩二 北田 健治 尾花 功
二葉 昌彦 安達 克典 小川 浩樹
陸平 輝昭

◆田辺市周辺衛生施設組合議会（6人）

柳瀬 理孝 浅山 誠一 福榮 浩義
市橋 宗行 安達 克典 佐井 昭子

◆富田川衛生施設組合議会（4人）

松上 京子 川崎 五一 高田 盛行
出水 豊数

◆富田川治水組合議会（4人）

前田 佳世 宮井 章 安達 幸治
佐井 昭子

◆上大中清掃施設組合議会（4人）

福榮 浩義 二葉 昌彦 安達 幸治
陸平 輝昭

◆紀南環境衛生施設事務組合議会（2人）

宮井 章 塚 寿雄

◆紀南環境広域施設組合議会（8人）

松上 京子 柳瀬 理孝 久保 浩二
橘 智史 尾花 功 安達 克典
小川 浩樹 中本 賢治

◆和歌山県後期高齢者医療広域連合議会（1人）

橘 智史



議決結果

令和元年第2回（6月）定例会

件 名		議決結果
2定議案第1号	田辺市重度障害者等医療費の支給に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
2定義案第2号	田辺市観光案内所条例の一部改正について	
2定議案第3号	田辺市火災予防条例及び工業標準化法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正について	
2定議案第4号	物品購入契約の締結について	
2定議案第5号	令和元年度田辺市一般会計補正予算（第2号）	
2定議案第6号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意 (全会一致)
2定議案第7号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	
2定議案第8号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし (全会一致)
2定議案第9号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意（全会一致）
2定発議第1号	米軍基地負担の軽減を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

米軍基地負担の軽減を求める意見書を可決

第2回（6月）定例会では、次の意見書を可決し、市議会の意思として、国会や関係機関に提出しました。

米軍基地負担の軽減を求める意見書

日米安全保障体制は、国民の生命・財産や領土・領海等を守るために重要であるが、米軍基地の存在が、航空機騒音、米軍人等による事件・事故、環境問題等により、基地周辺住民の安全安心を脅かし、基地所在自治体に過大な負担を強いている側面がある。

全国的に米軍基地の整理・縮小・返還が進んでいるものの、沖縄県における米軍専用施設の基地面積割合は全国の7割を占め、依然として極めて高い。

日米地位協定は、締結以来一度も改定されておらず、補足協定等により運用改善が図られているものの、国内法の適用や自治体の基地立入権がないなど、我が国にとって、依然として十分とは言えない。

米軍基地は、防衛に関する事項であることは十分認識しつつも、各自治体住民の生活に直結する重要な問題であることから、何よりも国民の理解が必要であり、国におかれては、国民の生命・財産や領土・領海等を守る立場からも、以下の事項について、積極的に取り組むべきである。

記

1. 米軍機による低空飛行訓練等については、国の責任で騒音測定器を増やすなど必要な実態調査を行うとともに、訓練ルートや訓練が行われる時期について速やかな事前情報提供を必ず行い、関係自治体や地域住民の不安を払拭した上で実施されるよう、十分な配慮を行うこと。
2. 日米地位協定を抜本的に見直し、航空法や環境法令などの国内法を原則として米軍にも適用させることや、事件・事故時の自治体職員の迅速かつ円滑な立入の保障などを明記すること。
3. 米軍人等による事件・事故に対し、具体的かつ実効的な防止策を提示し、継続的に取組みを進めること。
また、飛行場周辺における航空機騒音規制措置については、周辺住民の実質的な負担軽減が図られるための運用を行うとともに、同措置の実施に伴う効果について検証を行うこと。
4. 施設ごとに必要性や使用状況等を点検した上で、基地の整理・縮小・返還を積極的に促進すること。

一般質問

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

これからの林業について 安達幸治議員

【議】 森林作業道の管理不足のため、山が荒れている。作業道の工法についてどのように考えているか。また、山の荒廃を防ぐためには架線集材機の普及、技術者の育成が考えられるがどうか。

【市】 近年多発する豪雨に伴い、作業道の土砂が流出することによる農業や漁業関係者への影響が危惧されている。このため、架線集材の普及が期待されているおり、県では若手の育成を行っている。今後、周囲の環境や住民生活の影響にも配慮し、適切な施業方法を選択していくよう関係者の意識醸成を図っていきたい。

万呂地域における浸水・冠水問題について 浅山誠一議員

【議】 雨水流出解析調査結果から考えられる万呂地域の浸水・冠水対策の方針は。

【市】 中万呂、下万呂の当該区域では、既存水路断面の狭い場所が計3カ所あり、3ブロックに分けて対策が必要である。方法としては、雨水調整池や新設水路、ポンプ場の設置等が考えられる。調査結果を基に事業効果、事業期間、事業費等を総合的に検証し、関係機関と協議の上、今後の対応について検討していく。

【議】 早期実現をお願いするとともに、市全体の浸水・冠水対策も見越し、まずは排水ポンプ車の導入を検討していただきたい。

子育て支援策の充実について 前田佳世議員

【議】 定員に空きのある学童保育所で、希望が強い4年生を受け入れられないか。

【市】 通年で対象学年を拡充すると、長期休暇中のみの利用者に影響するので慎重な検討が必要である。

【議】 突発的な事情で子供を預けたい時がある。雨天時の遊びにも使える屋内遊び場を設置して、就学前の子供の一時預かり事業はできないか。

【市】 ニーズがあることは認識しているが、需要の動向を見極めたい。

【議】 病児・病後児保育所については、広域利用も視野に入れ新たな場所での増設を求める。

【市】 市内の開業医の状況などを把握しながら、周辺町村との広域連携についても研究・検討したい。

世界遺産熊野古道の周辺整備と景観保全について 宮井 章議員

【議】 太陽光発電施設の増加と建設計画について、市と景観保全審議会の考え方は。また、住民参画による景観づくりについて市の受け止め方はどうか。

【市】 太陽光発電施設の増加による周辺景観への悪影響を大いに危惧しており、これ以上景観が損なわれないよう、修景等により今以上に良好な景観形成に取り組む事が望ましいと考える。住民参画の景観づくりについては、制度の周知に努めるとともに、住民が主体となり景観保全が進められることで、多様で良好な景観が次代に継承されるものと考えている。

※編集の方針上、「〜だ」「〜である」といった文体に統一しています。

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

ニーズに対応し、誰もが利用しやすい公共交通について 川崎五一議員

議 龍神村柳瀬～中辺路町栗栖川間や中辺路町大内川～下川下間などでは、通学や通院の需要がある。他の路線の日曜日の予約運行を含め、ニーズについて把握しているのか。また、それらのニーズに対応していく考えはあるのか。

市 「公共交通網形成計画」策定に当たりアンケートや意見交換会などで様々な意見やニーズを把握し、利用しやすい公共交通の構築に取り組むたい。

議 移動手段の問題は、圧倒的多数の市民の関心事であり、優先的課題。目に見える前進を来年度実現できるように準備を進めていただきたい。

総合的な防災対策について 二葉昌彦議員

議 南海トラフ巨大地震の被害想定は、国難レベルと言われているが、危機管理・減災対策を考える中で、総合的な取り組みはできないか。

市 「災害から市民の生命や財産を守る」という責務を果たすため、様々な取り組みを行っている。防災訓練や学習会等による住民の防災に関する意識の啓発も重要である。企業と地域、それぞれが実施する防災訓練への相互参加を呼びかけるなど、工夫して災害への対応強化を図りたい。

議 災害が起きてからではなく、事前の対策が重要。避難体制の検討や防災訓練の充実など具体的な対策を進めていただきたい。

市立図書館の充実について 松上京子議員

議 全国的に図書館が地域の課題解決や観光、まちづくりなどの社会資源になっている事例がある。田辺市でも参考にし、図書館の充実を図れないか。

市 市立図書館周辺には、世界遺産の闘雞神社や南方熊楠顕彰館などがあり、市街地活性化事業や植芝盛平翁顕彰施設を兼ねた新武道館建設事業など、にぎわい創出に向けた取り組みを進めている。図書館も従来のサービス充実に加え、市内外から多くの人を訪れるような特色あるサービスを提供し、学びの拠点として、まちづくりの一端を担える施設となるよう努力したい。

地域防災計画「液体ミルク」の備蓄について 佐井昭子議員

議 乳幼児用の「液体ミルク」が国内で製造、販売されるようになった。お湯の確保が難しい災害時、赤ちゃんの命をつなぐ大事な栄養源となる「液体ミルク」を備蓄に加える検討をしてはどうか。

市 「液体ミルク」は、常温で保存可能。災害時、水、燃料等を使わず授乳することができることが利点。賞味期限と更新サイクルが短いという課題はあるが、本年度の計画見直し時に「液体ミルク」の備蓄についても、使った分を補充していく「ローリングストック」方式の活用を含め検討していきたい。

※編集の方針上、「『だ』『である』」といった文体に統一しています。

一般質問

文里地区の福祉作業所の高台移転について 久保浩二議員

※議は議員からの質問・意見、市は市当局の答弁を表しています。

【議】 東日本大震災で多くの障害者が犠牲となった。大半が津波による溺死とみられる。文里地区のふたば第2作業所は避難困難な利用者が多く、避難ではなく施設の高台移転を求めている。移転先を早急に検討すべきではないか。

【市】 移転先の選定について市有地に限らず、ふたば福祉会と協議を進めている。

【議】 市土地開発公社が所有している塩漬け状態の土地を提供できないか。

【市】 公平性から対応は困難と考える。市有地に限らず、情報提供していく。

【議】 移転が進まず、津波で命を落とすことになれば人災だ。早期対策を求める。

「子ども虐待」について 高田盛行議員

【議】 市における「子ども虐待」の現状はどうか。また、予防と防止対策はどのようなになっているのか。

【市】 市への相談件数は、平成29年度で96件、平成30年度で120件と年々増加傾向にある。田辺市児童問題対策地域協議会を中心として、家庭児童相談室、母子健康包括支援センター、紀南児童相談所、学校関係者、民生児童委員、警察、病院等の関係機関が十分連携しながら対応している。

【議】 全国各地で痛ましい事案が発生している。行政、学校また地域力を生かした予防・防止対策をしっかりとお願いしたい。

議会用語 解説

●付託

議会の議決に要する事件について、議会の議決に先立って、詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会、議会運営委員会または特別委員会に審査

を委託することをいいます。
付託される事件は、議案、請願、陳情、決議など議決を必要とする事件のほか、議会運営に関する事項等で、必要と認められるものすべてです。

魅力ある公園づくりについて 福榮浩義議員

【議】 少子高齢化が進行している現状において、子供だけでなく高齢者の方までみんなが元気に過ごせる健康な街づくりをしていくために、公園にもっと健康遊具を設置できないか。

【市】 健康遊具については、現在、扇ヶ浜の交流広場やその他市内の公園に計16基あり、高齢者の方々等にも好評いただいている。今後の設置については、少子高齢化が進む現状においては、子育て環境の整備も重要なテーマの一つであるため、子供用遊具の維持も考慮した上で、健康の保持・増進といった福祉施策の視点も勘案しながら検討していきたい。

※編集の方針上、「〜だ」「〜である」といった文体に統一しています。

議 会 活 動 日 誌

5月

【29日】新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会

6月

【10日】議会運営委員会、全員協議会

【14日】本会議（1日目）

【25日】本会議（2日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会

【26日】本会議（3日目）、議会運営委員会

【27日】本会議（4日目）、議会運営委員会、新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会

【28日】産業建設委員会、文教厚生委員会

7月

【1日】総務企画委員会

【5日】本会議（5日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会、新庁舎整備及びまちづくり等特別委員会

【12日】広報委員会

市議会本会議の会議録や録画映像は
インターネットからご覧いただけます

田辺市ホームページを検索

田辺市議会をクリック

次のご覧になりたい項目をクリック

会議録検索

議会録画配信

閲覧・検索

録画映像

ご覧になりたい本会議開催日等を選択

● 田辺市ホームページ

<http://www.city.tanabe.lg.jp/>

● 田辺市議会ホームページ

<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/index.htm>

※表紙のQRコードからもアクセスできます。

● 会議録検索ページ

<http://www.kensakusystem.jp/tanabe/index.html>

● 議会録画配信ページ

<http://www.kensakusystem.jp/tanabe-vod/index.html>

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、下記までご連絡ください。

ホームページでは、議会の情報や本会議会議録、録画映像をご覧いただけるほか、声の議会だよりのみご利用いただけます。

【連絡先】

田辺市議会事務局

〒646-8545

田辺市新屋敷町1番地

TEL 0739-26-9940（直通）

FAX 0739-25-5579

E-mail: gikai@city.tanabe.lg.jp

<http://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/>

次回の「市議会だよりの」

11月号

（第3回（9月）定例会の報告）

令和元年第3回（9月）定例会の会期日程（予定）

第3回（9月）定例会の会期日程（案）をお知らせします。

なお、日程は諸事情により変更される場合があります。恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
9	4	本会議1日目（関係議案の提案説明）
	13	本会議2日目（一般質問）
	17	本会議3日目（一般質問）
	18	本会議4日目（一般質問、議案に対する質疑及び委員会付託）
	19	常任委員会（関係議案審査）
	20	常任委員会（関係議案審査）
	27	本会議5日目（関係議案に係る委員長報告、議案審議）

※本会議の開会予定時刻は、9月4日及び27日が午後1時、それ以外は午前10時です。

編集後記

うつつしい梅雨空の朝窓を開けると「シャンシャン、シャンシャン」と今年初めてのクマゼミの声。このセミの声を聞くと、田辺祭の近づきを感じる。その田辺祭だが、ここに来て本当にさみしさを増している。高齢化のあおりを受けているのが現状で、若い衆の参加が減っている。

時代の流れと言えはそれまでもだが、地域の衰退は祭りの衰退、祭りの衰退は地域の衰退につながるため、これからの田辺市を考えるに当たっては、伝統的な田辺祭の盛り上がりは最も重要であろう。これからも全力で応援していきたい。

（安達）

広報委員会

委員長

副委員長

委員

安達 幸治
松上 京子
柳瀬 理孝
前田 佳世
宮井 章
中本 賢治
出水 豊数